



私の主張 MY OPINION

衆議院議員 岡田かつや

民主党をいかに再生するか。現在の私にとって、最大の課題です。

自民党が行き詰ったときに、これに代わる政党が存在すること。これは、日本のために必要不可欠なことです。

3年3カ月、民主党は、苦しみながら政権運営をしてきました。経験不足や失敗も多かったことは率直に反省しなければなりません。

他方で、民主党政権だからこそできたことも多かったと思います。私自身、外相として外交文書の公開や核軍縮政策、副総理として消費税の引き上げ

や子育て支援策など、自民党政権ではできなかったことを実現してきました。

国民生活の建て直し、財政再建、デフレ脱却、社会保障制度の見直し、近隣諸国との外交問題など、日本が直面する困難な課題は数多くあります。

私は、多様で有能な人材を備えた民主党以外に、自民党に代わって政権を担いうる政党はないと、確信しています。近い将来、民主党が、政権政党として重い責任を果たさなければならないときが来る。そのときに備えて、何としてでも民主党再生を早期に成し遂げることが、私の重い責任であると確信しています。

党務

政治改革推進本部長として、インターネット選挙解禁を実現しました。

衆院選挙制度改革については、自公案の「0増5減」に基づく区割り法案の対案として、民主党は、衆院小選挙区30、比例50議席を削減する法案を国会に提出しました。

与野党実務者協議で継続的に議論しましたが、最終的に政府・与党は、区割り法案を強行採決。今国会中に定数削減と一票の格差は正が実現するよう全力で取り組みます。



活動報告 ACTIVITY REPORT 2013.1▶2013.4

国会

3月8日、衆院予算委員会に質問に立ち、社会保障制度改革、外交・安全保障、経済政策などについて、安倍総理と議論しました。全て自分のやって

いることは正しく、民主党は誤っていたと言わんばかりの答弁が目立ちました。リーダーとしてもう少し謙虚さが必要では、というのが率直な感想です。



全国



参議院選挙を控え、全国各地を回っています。とりわけ、前回総選挙で落選した若手前議員のところを重点的に訪問しています。

一票の格差

16の高裁・支部で違憲または違憲状態との判決が出た一票の格差は正について、政府・与党は、0増5減に基づく区割り法案を決定しました。

しかし、5減案は複数の高裁で憲法上の疑義が指摘されているうえ、最新の調査では一票の格差がすでに2倍を超えて

います。

民主党は、小選挙区30、比例50の定数削減と、人口比例で議席配分することで、2年前の最高裁の判決により忠実な法案を国会に提出しました。

小選挙区の議席の割り振りにあたり、すべての都道府県にまず1議席配分するという従来のやり方（一人別枠方式）を完全にやめ、人口比例で機械的に配分することで、一票の格差を是正します。



週末は三重に帰り、3区を中心に中南勢も含めて精力的に活動しています。

また、4月には桑名及び四日市にてオープンセミナーを3会場開催し、安倍政権の経済金融政策や政治改革について、300名の皆さんと意見を交わしました。

私の近況

12月の総選挙後、毎週三重に戻っています。

与党時代は、外相、幹事長、副総理と忙しい日々が続き、月に一度戻るのが精一杯でした。いまは、金曜日の国会終了後、直ちに戻り、月曜日の夕方まで三重にすることが通例です。

平均10名程の後援会幹事会を集落単位で開催したり、自治会ごとに開催される初集会、総会などに出席してきました。地元企業も久し振りにきめ細かく訪問して、お話を聞くようにしています。5月中旬からは、高橋千秋参議院議員とともに、各地区別の国政報告会を合計34会場、順次開催中です。

「政治家にとって、地元は現場であり、現場にこそ本当の声がある」という考えの私にとって、地元回りは楽しく、かつ考えさせられることも多い学びの場でもあります。

不在がちであったにもかかわらず、変わらず支持・支援いただいている皆さんの声に元気づけられながら、多くのことを吸収させていただいています。これからも、できるだけ多くの方々と対話したいと考えています。



岡田かつや・たかはし千秋 国政報告会 開催日程

5/18(土)

13:00 下野(市民センター)
14:00 富田(市民センター)
15:00 益世(市民センター)
18:30 多度町(三川商工会)
19:00 深谷(市民センター)

5/24(金)

18:30 保々(市場公民館)
19:00 神前(市民センター)

5/25(土)

10:00 県(下海老公会所)
10:30 三重(市民センター別館)
13:00 大成(尾野神社)
13:30 城南(市民センター)
14:30 大和(市民センター)
15:00 桑部(市民センター)

5/31(金)

18:30 木曾岬町(創生ホール)
19:00 長島町(中央公民館)

6/1(土)

10:00 中央(中央公民館)
11:00 七和在良星見が丘(スター21)
14:00 海蔵(市民センター)
15:00 大谷台(小杉町公会所)

6/7(金)

18:30 久米(市民センター)
19:00 大山田(コミュニティプラザ)

6/8(土)

18:00 八郷(市民センター)
19:00 橋北(市民センター)

6/14(金)

18:30 朝上・竹永(田光公会堂)
19:00 菰野・千種・鶴川原(商工会)

6/15(土)

18:00 北勢町(市民会館)
18:30 員弁町(コミュニティ)
19:30 東員町(保健福祉センター)

6/21(金)

19:00 羽津(志氏神社)
19:30 富州原(市民センター)

6/27(木)

18:30 大安町(中央公民館)
19:30 藤原町(文化センター)

6/28(金)

18:30 大矢知(あさけプラザ)
19:00 川越・朝日町(あいあいホール)

被災地 視察報告



▲がれきを活かして森の防潮堤を整備する「森の長城プロジェクト」



5月4日から3日間、岩手、宮城、福島の前被災地を歩き、復興へ向けた様々な取り組みを視察してきました。いまだに多くの方々が仮設住宅で暮らし、安定して働く場も十分確保できていない厳しい局面ではありますが、新しい前向きな動きも出てきています。

5/4

●岩手県大船渡市、陸前高田市
●宮城県気仙沼市

大船渡漁協を訪問し、組合長はじめ漁業者の皆さんと意見交換をしました。同漁協に幹事長時代に訪れた際に、ワカメ養殖業早期再開のための要望を受けましたが、昨年はワカメの収穫を無事再開することができたとのことでした。次に陸前高田市を訪問し、震災後に立ち上がった現地のNPOや商店街の取り組みを中心に視察しました。津波の到達点に桜を植樹し、震災を後世に伝える「桜ライン311」や、店主が団結して作り上げた「未来商店街」など、勇気付けられるプロジェクトに多数出会いました。

夜は、気仙沼NPO/NGO連絡会所属の7団体の皆さんと懇談。復興のあり方について、有意義な意見交換ができました。



▲ 昨年からワカメの収穫を再開した大船渡の漁港

5/5

●宮城県南三陸町、石巻市、岩沼市、山元町
●福島県相馬市



▲ 新鮮な魚介類を求める客でにぎわう南三陸町の漁協直売所



▲ 山元町の農家と行政が連携して取り組むイチゴの先端施設園芸

南三陸町を震災直後に訪れた際には、言葉も出ないような厳しい状況でした。しかし、震災から2年経ち、新たにオープンした漁協直売所「タブの木」や、多数の仮設店舗が集まる「南三陸さん商店街」は、魚介類などを求める多くのお客さんでにぎわっており、活気が感じられました。

午後は岩沼市を訪れ、がれきを活用して森の防潮堤を整備する「森の長城プロジェクト」を視察。木を植えることで津波対策にもなり、被災された方々にとっても、木が育つことで生き甲斐の一つになるのではないかと思います。山元町では、イチゴの先端施設園芸の研究イチゴ生産ハウスを見学。地元農家の皆さんと行政が連携し、将来の農業を先取りした栽培が行われていました。夜は相馬にて、福島県で活動しているNPOの皆さんと懇談。若い皆さんや地域のNPOが頑張っている姿が印象的でした。

5/6

●福島県南相馬市、福島市

南相馬市にて桜井市長と久し振りに意見交換。震災直後に立入制限地域を案内していただいたことを思い出します。その後、南相馬ソーラー・アグリパークを視察。ここは、ドーム型の野菜工場と太陽光発電所が一体となった新しい施設で、子どもたちが体験学習をすることができます。被災地だからこそできる未来志向のプロジェクトが各地域で立ち上がっており、力づけられました。



▲ 野菜工場と太陽光発電所が一体となった南相馬ソーラー・アグリパーク

憂楽帳



「アベノミクス」なる言葉がメディアでおどっています。

現時点では、三本目の矢、即ち最も重要な成長戦略は具体的姿が明らかではありません。しかし、円安と株高を歓迎して、過度に楽観的な見通しが広がっています。

2005年の郵政民営化騒ぎと似ていると感じるのは、私だけでしょうか。郵政民営化すれば景気回復し、内政・外交全てが良くなると、小泉自民党は主張しました。国民の多くは熱狂し、自民党は総選挙で大勝。しかし、言われたような大きな変化はありませんでした。

日本を取り巻く状況は厳しく、将来不安が広がっています。現状を一瞬にして変えてほしいとの思いがあることはわかります。しかし、魔法の杖を一振りすれば全てが変わることなどあり得ないのです。

デフレ脱却が重要という問題意識は私も共有しています。リスクを回避しながら困難を乗り越えていかなければなりません。浮かれることなく、一つひとつ実現していく真面目な政治が求められています。

後援会通信

●個人献金のお知らせ

岡田かつやの政治理念に賛同し、個人の立場で財政面からサポートして頂ける方からの献金を随時お受けしています。詳細は、下記のホームページをご覧ください。
<https://www.katsuya.net/donation/index.html>

岡田かつやブログ
「TALK-ABOUT」
katsuya.weblogs.jp
メルマガジン「かつやNEWS」
www.katsuya.net/news.html
(メールでも無料配達中！この機会にぜひご登録を！)

政治の中心にいて感じることを率直に語るのがこのブログです。日々取り組んでいる政策の中身や政治活動に加えて、海外出張の報告や地元での活動など、岡田かつやの日常が満載。ご意見も随時募集！

岡田かつや公式 Facebookページ
<http://www.facebook.com/katsuyaokada>